

利用者	工事中の駐車場の確保はどうなっているのか。
文化課長	できるだけ市で駐車場を確保したいが、きらら駐車場のどの部分に建設するのかまだ配置が決まっていない状況。きららの周辺駐車場を確保していきたい。
利用者	博物館の建設時期と工期について聞きたい。また、工事中に減った駐車場は、きらら周辺駐車場を確保するということだが、具体的にどこの駐車場を借りることができるのか。
文化課長	現在、基本計画を作成中であり、基本計画完成後、今度は基本設計を進めていくことになる。基本設計の作成に1年程度かかり、基本設計が完成した後、令和9年～10年頃に実施設計を作成する。工事が開始するのは今から2年後の令和10年度頃となる見込み。そのため、周辺駐車場の確保について、現時点でこの駐車場と特定することはできない。工事が始まるまでの2年間で用意していく。
利用者	工事期間中のきらら周辺駐車場の確保は難しいと思う。きららから離れた場所で確保しても不便。意味がない。どの辺りの駐車場か示して欲しい。
文化課長	工事まで2年近くある中、現時点で具体的に示すことはできない。なるべくきららに近い場所で駐車できるよう努めていく。
利用者	3点聞きたいことがある。 ①博物館の1階部分をひさし上又は柱で支える構造にするということだが、このような構造は被害を受けやすい。収蔵している文化財にも被害が及ぶ。どのように考えているか。 ②博物館を建設することは確定していることなのか。 ③市でやるべき優先順位を考えたとき、博物館を建設することは優先するべきことか。ほかにやるべきことがある。
文化課長	①博物館の仕様については、基本設計で示していく。基本構想よりも具体的な内容になる。きらら駐車場のどの位置に建設すれば駐車場80台を確保できるのかということと併せて、文化財を収蔵する場所もどの位置が最も安全で被害を受けにくいのか条件を示して発注する。 ②候補地が5か所あったが、多くの市民に利用していただけるという立地条件がきららを候補地にした最大の理由。本日の説明会で御理解いただきたい。
企画部長	③市では様々な計画、事業を行っており、総合計画を策定している。その中で、教育、また、次世代に向けて歴史や文化を身に付けてもらうという点は優先するべき事業の一つとして位置付けている。子育て支援策や施設の改修など様々な事業も当然進めている中で、博物館の建設も重要な優先するべき事業として考えている。
利用者	ほかにもっと広い場所があるのになぜきらら駐車場に建設するのか。
文化課長	なぜこの場所なのか、前回の説明会でも説明させていただいたが、博物館の建設には、市民に訪れてもらい、歴史文化を知ってもらいたい、富士宮市に愛着を持ってもらいたい、人づくりの拠点としたいという思いがある。そのため、駅前という立地は適している。商店街とも連携して盛り上げていきたい。
教育部長	策定委員会等で様々な意見を伺う中で、郊外型と都市型のどちらにするかという意見も伺った。市民が訪れやすい都市型が良いという意見が多かった。

利用者	<p>当初の計画では建設予算がおよそ22億円ということだったが、物価が上がっている中、22億円でできるのか。予算オーバーしても建設するのか。入場料もとらないという話だったが、毎年維持費などで1億円程度経費が増えていくのか。利益がないなら中止するべきではないか。</p>
文化課長	<p>基本構想を作成したとき（令和3年度）は、概算で17～22億円だったが、これは予算が確保できたという話ではない。博物館の面積は、当初2,600㎡を予定していたが、基本計画では2,240㎡にした。建設費用を抑えるためにコンパクトな設計にする。ただ、物価高騰もある中で、当初予定の17～22億円で建設することは難しいと思う。なるべく費用を抑え、また、補助金やふるさと基金も活用していきたい。</p> <p>なお、経費について、博物館が図書館や公民館と同じ位置づけであり市民のための社会教育施設のため、やはりお金をとらずに運営していくことになると思う。人件費については、今富士宮市にいる学芸員が主に勤務することになり、それにプラスして管理費等はかかると思うが、1億円も経費は増えないと考えている。</p>
利用者	<p>博物館建設の目的の一つとして、文化財の収蔵を挙げているが、新しい博物館では全ての文化財を収蔵できるわけでない。空き施設にも収蔵すると言っていた。市民に見てもらうためだけではなく、全ての文化財を安全に収蔵できるようにして欲しい。</p>
文化課長	<p>現在、埋蔵文化財センターと芝川会館にある全ての文化財を収蔵するためには、900㎡という面積が必要になる。博物館の面積は2,240㎡であるが、そのうち収蔵倉庫の面積は400㎡程度であるため、全ての文化財を収蔵するのは難しい。また、博物館は、一般的な建物と違って、安全に収蔵するために、壁を二重構造にしたり湿度や温度を調整できたりする収蔵庫を設ける必要がある。このような造りは一般的な建物よりも建築費用が高くなる。もっと広い土地もあるが、そこに大きい規模の博物館を建設するとお金も高くなってしまうため、できるだけコンパクトな造りにし、分散して保存していく。博物館の収蔵庫には、整った環境が必要な文化財を保存する。</p>
利用者	<p>博物館をきららに建設することが決定したのとして動いている。なぜこの場所に建設するのか。もう少し長い目で見てやれば良い。再検討はしないのか。</p>
文化課長	<p>今でなくてもということだが、社会が変化していく中で、歴史文化を伝えていくという機会が少なくなっている。次の世代に伝えていかなければ、貴重な文化財があっても理解されないまま捨てられてしまったりほかの博物館に預けられてしまったりする可能性もある。なるべく早く博物館を建てて、一人でも多くの子どもたちに歴史文化を伝えていきたい。</p>